

令和4年度地域との協働による 高等学校教育改革推進事業 全国フォーラム発表資料

縮減社会を生き抜き、あきたの未来を創造する
新たな農業高校成長モデルの研究開発について

秋田県立金足農業高等学校
研究開発主任 照内之尋

研究課題 「縮減社会を生き抜き、あきたの未来を創造する新たな農業高校成長モデルの研究開発」

～地域定住人材の育成を目指したKANANOスタイル農業高校改革プロジェクト～

- 目指す生徒像
- 1 人口減少に対応しつつ、農業関連産業を変革することができる人材を育成する。
 - 2 地域に定住し、本県農業の在り方や地域農業を担う人材を育成する。

視角1 秋田は超少子高齢、人口減少県。世界・日本の最重要課題のフロントランナー
 視角2 地域との協働による地域再生・農業改革を5学科で体現する研究開発プログラム

金農オリジナル学習評価法(可視化された指導と評価の一体化)
 GKH(金農総幸福量)、ポートフォリオ、ルーブリック等により評価・検証

「秋田型農業成長モデル」

- 地域に魅力を感じ、地域に定住したいと思う生徒の割合・・・90%(令和4年度目標値)
- 就職希望者の中で県内に就職をした生徒の割合……………95%(令和4年度目標値)
- 地域協働事業を活用して研修等に参加した生徒の割合…90%(令和4年度目標値)

地方創生として目指す地域の将来像

- 新規就農者等の向上、コミュニティの維持
- 地域産業の発展や雇用確保、所得の向上
- 持続的で内発的な地域社会の実現
- 幸福感や豊かさなど新しい価値観の創造

身に付けさせたい資質・能力

- ①改革する力
- ②思考力
- ③人間関係構築力
- ④実践力
- ⑤創造力・将来設計力
- ⑥先見力
- ⑦マネジメント力
- ⑧多文化協働力

1 「グローバルスタディ」領域

GAP教育やSDGS等のグローバルスタンダードから地域を見る目を養う

2 「第4次産業・農業革命」領域

大学や研究関連機関との連携によるスマート農業などの先端技術の習得

3 「ソーシャルスキルアップ」領域

長期インターンシップや企業との協働による商品開発・6次産業化の実践

4 「地域一体型農業コミュニティ形成」領域

地域資源の活用、地域文化の継承・普及、コミュニティプラットフォーム形成

カリキュラム1年次
基礎

カリキュラム2年次
発展

カリキュラム
3年次
応用と実践

職場見学等
で地域理解

学校設定科目
【地域創生論】

学校設定科目
【社会起業家実践】

到達目標

地域理解

- ◆関係科目「農業と環境」「農業情報処理」「総合実習」他

到達目標

地域課題発見と解決

- ◆関係科目「作物」「野菜」「畜産」「測量」「課題研究」他

到達目標

地域創造実践と提言

- ◆関係科目「課題研究」「農業経営」「水循環」「食文化」他

先駆的な取組を支援「金農支援コンソーシアム」

◆共学共創コミュニティの創出

行政(秋田県、秋田市、潟上市、大潟村)、等、大学等研究機関(秋田大学、秋田県立大学)、関連企業、農家等との連携

◆研究推進の環境整備

研究開発推進委員会の設置(校内研究体制の推進)

◆地域に開かれたカリキュラム開発

「カリキュラム開発等専門家」・「地域協働学習実施支援員」の配置



3年間の実施内容

【令和2年度】

実施事業数 39事業・参加生徒数 811名

【令和3年度】

実施事業数 46事業・参加生徒数 1,631名

【令和4年度】

実施事業数 48事業・参加生徒数 2,148名

(令和4年度は令和5年2月1日見込)



集中講義「グローバル下における日本農業の在り方」
国際教養大学准教授 名取洋司（令和3年11月26日）



SDGS親子ワークショップ 森の幼稚園児・保護者
造園緑地科3年（令和3年11月30日）本校樹木園

グローバル・スタディ領域



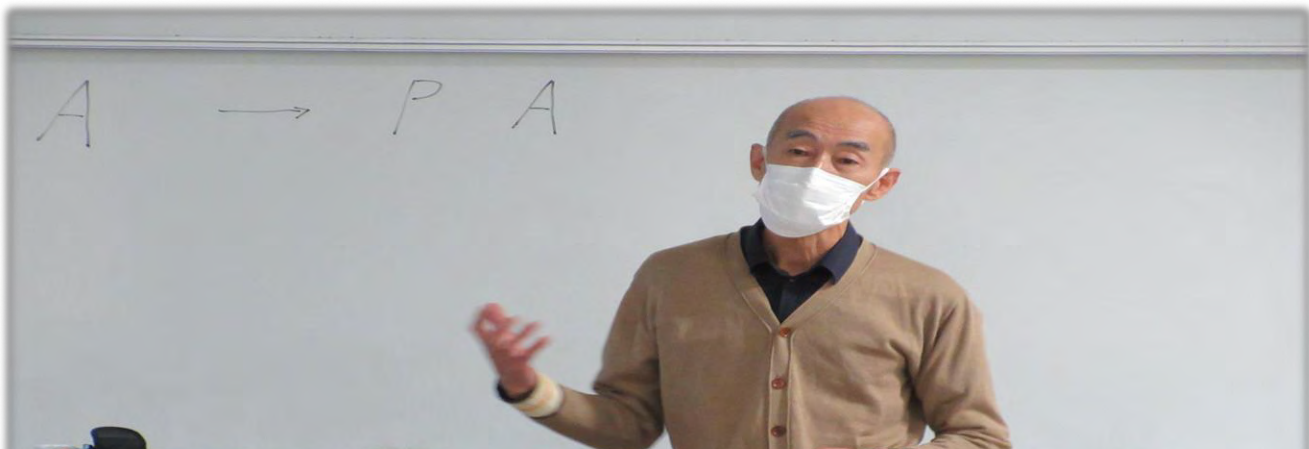
農場HACCP(ハサップ)認証講習 生物資源科
岩手県立農業大学校教授 武田 哲（令和4年7月7日）



農業Week視察研修（in幕張メッセ）RXジャパン株式会社
教員研修（令和4年10月11日他）



測量・ドローン技術講習県土コンサルタンツ協会
環境土木科・造園緑地科2年生（令和3年9月13日）



秋田県立大学アグリノベーション教育研究センター
GNSSデータ分析 生物資源科2年（令和3年12月15日）

第4次産業・農業革命領域



建設技術公開EE東北22視察研修インフラDX体験他
環境土木科（令和4年6月1日他）夢メッセみやぎ



農業省力化・スマート農業研修・秋田県立大学AIC視察
食品流通科3年（令和4年7月15日）秋田県立大学



地域特産物商品開発 梨を使ったコンポート
生活科学科2年・3年（令和3年7月7日他）



長期インターンシップ 株式会社寿牧場
生物資源科3年（令和3年7月25日他）

ソーシャル・スキルアップ領域



秋田港湾 現場視察研修
環境土木科1年30名（令和3年7月28日）



リンドウ先進農家視察研修
生物資源科3年草花専攻生（令和4年9月8日）



東北森林管理局との協働 植樹学習 会馬場目川上流
生物資源科・環境土木科2年生（令和3年10月28日）



造園緑地科集中講義「地域の景観の個性と地域づくり」
東京大学 准教授 山本清龍（令和3年12月9日）

地域一体型農業コミュニティ形成領域



地域との協働による独居老人宅剪定ボランティア
造園緑地科・生活科学科科3年生（令和4年7月13日他）



基調講演「今後の地域づくりの根底に据えるべきこと」
富士大学 学長 岡田秀二（令和4年10月28日）

社会に開かれた 教育課程の実践

学校設定科目について



学校設定科目「地域創生論」(2年次)

外部講師によるオムニバス方式・公開講座(R3:10回・R4:15回)

秋田で生きる
Live in akita

金農発!! 地域公開講座

県民の皆様(中学生以上)に講座を公開します。ご応募下さい!

■実施場所:本校第一体育館

Regional Revitalization Theory

地域創生論

B 地域課題の解決

あきたの未来を
創造します!

聴講の応募方法

【1 メールで申し込む場合】

右記のメールアドレスに、①氏名 ②住所 ③連絡先 ④聴講希望番号(第〇講)を記載のうえ、送信して下さい。

【2 電話で申し込む場合】

右記の電話番号にかけ、上記①~④をお知らせください。(担当:照内之尋、高橋寿徳 受付時間10:00~17:00)

注意事項

- (1)申込は、各講義開催日の3日前までに申込みようお願いします(期限厳守)
- (2)人数制限がありますので、希望に添えない場合もあります。
- (3)来校の際は検温を実施し、マスクを着用願います。
- (4)コロナ感染状況次第では、公開を中止します(HPでも掲載します)。



A 地域を知る

地域の魅力と課題
を再発見します!

地域づくりのプロが
未来の秋田を語ります

(年間全15講義を実施します)

- 第1講 5月11日(火) 13:30-15:15
富士大学 学長 岡田秀二 氏
- 第2講 5月26日(水) 13:30-15:15
秋田県立大学教授 谷口吉光 氏
- 第3講 6月9日(水) 13:30-15:15
秋田大学 准教授 益満 環 氏
- 第4講 6月22日(火) 13:30-15:15
秋田今野商店代表 今野 宏 氏
- 第5講 6月30日(水) 13:30-15:15
たけや製パン代表 武藤真人 氏

※第6講以降も、現行政担当者や農業経営者等の講義を予定しています。HPで随時お知らせします。

C 地域を科学する

地域政策や経済学
を学びます!

Study Practice Science

http://www.kanano-h.akita-pref.ed.jp/

kanano-h@akita-pref.ed.jp

018-873-3311-3312



秋田県立
金足農業
高等学校

秋田大学教育文化学部

地域文化学科准教授 益満環



オルウィーヴ合同会社

代表取締役 竹下香織

おいしいものを食べて、勉強して遊んで
これ以上な



島根大学大学院

准教授 中村怜詞



仙北市 齋藤農園

代表 齋藤瑠璃子



公開講座パンフレット(学校HPにて)



学校設定科目「社会起業家実践」(3年次)
日本政策金融公庫東北創業支援センター
によるビジネスプラン作成

受講生の声（ 令和3年度の受講生 ・ 令和4年度の受講生）

- 秋田のことをよく知り何が必要とされているのか、その中で自分は何ができるのか。
- 失敗を恐れず挑戦したい。学ぶことは挑戦し続けることだと思う。
- 自分が社会を変えられるのであれば挑戦したい。
- 課題が沢山あるほうが地域の強みになる。課題が明確なほうが改善点が探しやすい。



- 何よりも現状を理解することが大切。いま何が課題で、どうやって解決すべきかを考えたい。
- 人口減少への危機感を自覚。秋田や自分の住んでいる地域を見る視点が大きく変わった。
- 今は利便性が良い時代で住みやすいと思っていたが、それは自分が良い部分だけを見てい
- ただで、視野を広げれば環境問題や資源の枯渇など、負の側面もかなりあることを知った。
- 自立という言葉が地域に当てはめた場合、課題も多いが、これからはそのように地域が自立し
- てゆく時代になるのではないか。

